

特集

開業助産師を応援したい!

助産師なら一度は憧れる「開業」。妊娠期・出産期・産褥期を通して寄り添うケアや、何世代にもわたり地域の母子を支える存在となることには、助産師活動の醍醐味があると言う人も少なくありません。

しかし、開業助産師数とくに分娩を扱う開業助産師は減り続けていますが、一方で、産科医師不足を背景に、また、地域における母子の支援者として、助産師の力に期待する動きも起こっています。

現代の開業助産師は、安全なお産を守り、医療との共存を考えながら、今後どのように活動を維持していったらよいでしょうか。勤務助産師にとって、「開業」とは遠いものなのでしょうか。本特集では、ベテラン開業助産師の語りと4つのモデルケースを通して、現代の「開業」を考えます。

